

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	222	施策	消費者意識の向上
管理事業	消費生活事業	所管部局	市民部

1	所管 室課	市民総務室	事業名	消費生活事業	
事業概要					
消費者啓発、消費者相談、計量、特殊詐欺被害防止対策					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
(1) 消費生活相談件数 令和元年度 2,666件 令和2年度 2,932件 令和3年度 2,609件		決算額（千円）	29,502	28,966	
		一般財源の比率（％）	83.2	83.8	
(2) 啓発講座実施回数と受講者数 令和元年度 9回 588人 令和2年度 2回 53人 令和3年度 8回 173人		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 令和3年度においては、コロナ禍により在宅時間が増えるなか、スマートフォン等の利用によるインターネットを通じた契約トラブルや、未成年者によるゲーム課金、副業・投資などのトラブルが増加するなど、相談内容も複雑化している。 今後も専門知識を有する消費生活相談員による相談体制の維持・充実を図るとともに広く啓発活動を行うことで消費者トラブルの未然防止に努める。			継続 相談体制の維持・充実を図り、消費者トラブルの未然防止に努める。

2	所管 室課	市民総務室	事業名	消費生活センター管理事業	
消費生活センター管理					
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
施設管理のための委託 土地家屋の借上げ 光熱水費の執行 ほか		決算額（千円）	6,751	6,659	※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）	94.5	99.9	☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題 消費生活センターが入居している吹田さんくすは建 築後40年以上が経過しており、市の公共施設最適化 計画の中で検討を進める必要がある。			☐ 有効性
					☐ 効率性
					☐ 公平性
			☒ 持続可能性		
			今後の実施計画 の方向性・内容		
			継続		
			施設の老朽化が課題 である。		

	所管 室課		事業名		
事業概要					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
		決算額（千円）			※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）			☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
					今後の実施計画の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名